

和歌山県白浜町に所在する京都大学瀬戸臨海実験所 構内でのクマゼミ(カメムシ目, セミ科)の2013年の遅鳴き

The late droning of *Cryptotympana facialis* (Hemiptera, Cicadidae) in 2013 in the campus of the Seto Marine Biological Laboratory, Kyoto University at Shirahama, Wakayama, Japan

久保田 信

はじめに

南日本一帯で夏季の午前中に鳴くクマゼミ *Cryptotympana facialis* (カメムシ目, セミ科) が, 和歌山県西牟婁郡白浜町に所在する京都大学瀬戸臨海実験所構内で9月から11月にかけて遅鳴きした最近の記録をした(久保田・田名瀬, 2002; 久保田, 2011, 2012)。今回, 2013年にも9月中旬から10月下旬まで鳴いたので報告する。

材料と方法

2013年9月中旬過ぎから10月中旬過ぎまでの約一ヶ月間, できるだけ毎日, 早朝からクマゼミの鳴き声が聞こえた時間とその回数を, 筆者の研究室(研究棟2階の東端に位置)で1分おきに聞き取って記録した。出張や諸用で十分調査できなかった日もあるが(10月の4-7日, 8-10日, 15-17日), 最大限の調査を実施した。ただし, 毎日, 昼時の1時間余りはほとんど調査しなかった。

結果と考察

9月19日から10月20日までの31日間の期間中の21日の調査の結果, 計12日で鳴き声が聴けた(表1)。1分間に2個体が同時に鳴くことはなかったが, 1分間に1個体が2回鳴いた場合が5回あった(内3回は10月3日)。この調査期間中, クマゼミは例年の出現最盛期と同様, 午前中に鳴いたが, 計2回だけ午後鳴きをした(9月29日と10月20日)。今回の記録の最終日となった10月20日は特記すべきで, 午後15時過ぎに1回だけ鳴いた。その前日の19日が一日中雨のためか鳴き声は全くなく, 20日も午前中は雨で寒冷であって, 鳴き声はないままだった。しかし, まるで雨が降り止むのを待っているかのように午後3時過ぎに鳴いた。しかし, それきりであった。

今回, 一日の内で鳴き始める時刻が早かった日は計3回あって(10月の1日, 3日, 11日), その時刻は7時20分から7時28分であった。この時刻は昨年(2012年)の記録より早く, しかも10月になってからであった(表1)。1日当たりの鳴き声の最多回数は, 18回(10月3日)であった。その日は早朝だけこのような連続鳴きをしたことが特記される(表1)。

10月中旬を過ぎると気温がめっきり下がったことに伴い, 鳴く回数も減って, 18日と20日は1日1回だけとなった。まるで最後の力をふりしぼって鳴いたかのようであった。なお, 研究棟正面玄関左横(西側)のソテツの影で, 芝生の生えた地面上の気温は, 10月11日20時20分には25.5℃, 10月27日19時50分には16.5℃であった。

表1. クマゼミの遅鳴きの2013年の記録

月日	鳴いた時間幅（分） とその時刻幅	鳴き声の全回数
9月19日	55（9:16-10:11）	3
9月22日	0（9:30）	1
9月23日	48（11:11-11:59）	7
9月24日	125（8:54-10:59）	7
9月28日	68（8:05-9:13）	2
9月29日	0（13:14）	1
9月30日	122（10:31-12:34）	8
10月1日	175（7:25-10:20）	12
10月3日	260（7:28-11:48）	18
10月11日	263（7:20-11:43）	7
10月12日	81（10:10-11:31）	5
10月14日	98（8:50-10:28）	7
10月18日	0（9:38）	1
10月20日	0（15:06）	1

引用文献

久保田 信・田名瀬英朋. 2002. クマゼミの遅鳴きの最近の記録. 南紀生物, 41(1): 64.

久保田 信. 2011. 和歌山県白浜町に所在する京都大学瀬戸臨海実験所構内でのクマゼミ（半翅目, セミ科）の2011年の遅鳴き. KINOKUNI, (80): 34-35.

久保田 信. 2012. 和歌山県白浜町に所在する京都大学瀬戸臨海実験所構内でのクマゼミ（半翅目, セミ科）の2012年の遅鳴き. KINOKUNI, (82): 17-18.

（くぼた しん 西牟婁郡白浜町臨海459京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所）